

農地保全事業

[679]

事業の位置づけ

一般会計

政策	06	活力あふれるまちづくり	事務事業コード	63-0101	実施計画	対象
施策	03	農業の振興	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	農地の保全	担当	市民生活部 産業課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民、農家、農地	農地の保全を目的として、農協が実施する景観形成作物の栽培経費を補助する。市民に農業を身近に感じてもらうため、平成22年度より「田んぼアート」、平成25年度より「田んぼイルミネーション事業」を実施 耕作放棄地解消事業の経費を補助する。 ・花：コスモス(秋) ・栽培場所：城山街道沿い ・栽培面積：0.44ha
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	【田んぼアート】A = 1,096㎡ ・田んぼをキャンパスに稲でイラストを描く ・6月田植え、10月稲刈り 【田んぼイルミネーション事業】A = 1,879㎡ ・「ペットボトル」を使い、イラストを描く ・11月下旬～12月下旬
	景観形成作物が栽培されることにより、農地が美しく保全されている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	補助金額	千円	560	607	700	845
成果指標	景観形成作物の栽培面積	ha	0.44	0.44	0.44	0.44
	メディアで取り上げられた回数	回	5	5	5	11
事業費 計			1,751	1,967	2,296	2,428
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		1,751	1,967	2,296

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)メディアで取り上げられた回数は昨年度実績と比べ120%向上した。 (原因)ポスターやホームページ等を通じて効果的に周知ができたと考えられるため。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	市民の関心が高まるよう、実施方法を検討します。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
効果的な周知方法を検討した結果、メディアで取り上げられる回数が増加した。			

農業振興地域整備促進事業

[680]

事業の位置づけ

一般会計

政策	06	活力あふれるまちづくり	事務事業コード	63-0102	実施計画	
施策	03	農業の振興	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	01	農地の保全	担当	市民生活部 産業課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>農業の振興を図ることが必要であると認められる地域</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>・農業地域が保全及び形成されている。 ・農業地域について、農業に関する公共投資その他農業振興に関する施策が計画的に推進されている。</p>	<p>・農業振興地域整備計画の策定及び変更にあたり、市民等から幅広く意見を聴取するため、尾張旭市農業振興地域整備促進懇談会を開催する。 ・農用地の除外において転用内容が特殊な場合に開催する。 ・平成28年度 開催実績なし(開催を要する案件が無かったため)</p> <p><農業振興地域整備計画>(概ね5年更新)</p> <p>地域指定年度 昭和48年度 計画策定年度 昭和49年度 計画見直し年度 昭和55年度、平成5、13、20、24、29年度</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標							
成果指標							
事業費 計			333	1,218	1,918	1,774	
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県		333	290	360	325
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般			928	1,558	1,449

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 未設定</p> <p>【成果指標の状況】 未設定</p> <p>【成果向上余地】 未設定</p>	
--------	---	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	農業振興地域整備計画の見直しを行います。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

農業用施設維持管理事業

[682]

事業の位置づけ

一般会計

政策	06	活力あふれるまちづくり	事務事業コード	63-0201	実施計画	
施策	03	農業の振興	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	農業基盤の充実	担当	市民生活部 産業課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	農業用施設(ため池、用水路等)、農家	<ul style="list-style-type: none"> ・農業用施設の修繕・草刈り・小規模な工事等を請負にて随時実施する。 【多面的機能支払交付金事業】 ・農業者、地域住民等からなる活動組織が行う水路清掃や草刈等に係る活動や農村環境の保全に係る活動に対し支援を行う。 ・事業面積1.2ha(旭ヶ丘町、大久手町、北原山町) ・交付金は国、県、市が1/2、1/4、1/4を負担 【農業用施設修繕事業】 ・平成24年度 農業用施設老朽度調査を(修繕計画)の策定 ・平成25年度～施設修繕工事の実施(愛知県土地改良事業等補助金を活用) 【耐震対策事業】 ・県が耐震対策事業にて実施設計委託及び工事実施をするため、事業費の一部を負担する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
農業用水路の通水障害が解消され、ため池等の適正な維持管理が図られている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	要望・苦情対応件数	件	27	29	40	28	
	工事施工箇所数	箇所	12	10	15	9	
成果指標	要望・苦情解決率	%	100	100	100	100	
事業費 計			22,292	24,735	25,955	21,571	
指標・事業費	財源内訳	ア 国					
		イ 県	千円	3,095	2,692	5,984	3,812
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般		19,197	22,043	19,971	17,759

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	現状、すべての要望・苦情に対応しており指標は100%である。
--------	---	--------------------------------

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	県と協力し、長池、大森池、雨池の防災ダム事業(堤体の耐震補強)の円滑な推進を図ります。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
(堤体の耐震工事) 長池は、工事完了後、移管手続きを終えた。 大森池は、工事を着手した。 雨池は、H28に引き続き工事を実施した。			

ふれあい農園運営事業

[686]

事業の位置づけ

一般会計

政策	06	活力あふれるまちづくり	事務事業コード	63-0301	実施計画
施策	03	農業の振興	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	03	都市型農業の推進	担当	市民生活部 産業課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	市民 ふれあい農園	手段(事務事業の内容、やり方、手順)								
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	農業体験ができる場を提供することにより、農業を身近に感じる市民が増えている。	<ul style="list-style-type: none"> 平成 6 年度 城 山ふれあい農園の開設(104区画,30㎡/区画) 平成 1 7 年度 西大道ふれあい農園の開設(61区画,30㎡/区画) (使用料・使用期間) <ul style="list-style-type: none"> 平成 6 年度 6,120円/年、最長5年利用可。 平成 2 3 年度 6,120円/年 10,500円/年、最長4年利用可。 平成 2 5 年度 10,500円/年 10,800円/年、最長4年利用可。 (利用申込状況) <ul style="list-style-type: none"> 前年度2月に広報にて募集。 平成 2 8 年度分募集区画 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>城 山</td> <td>1 7</td> <td>申込者数</td> <td>3 3 (倍率 1 . 9 倍)</td> </tr> <tr> <td>西大道</td> <td>1 3</td> <td>申込者数</td> <td>2 2 (倍率 1 . 7 倍)</td> </tr> </table> (維持管理) <ul style="list-style-type: none"> 農園管理委託の実施 平成 2 3 年度 ~ 菜園講習会・使用者との除草清掃作業を実施(2回/年) 	城 山	1 7	申込者数	3 3 (倍率 1 . 9 倍)	西大道	1 3	申込者数	2 2 (倍率 1 . 7 倍)
	城 山	1 7	申込者数	3 3 (倍率 1 . 9 倍)							
西大道	1 3	申込者数	2 2 (倍率 1 . 7 倍)								

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	農園利用者数(単年度)	人	165	165	165	165	
	農園申込者数	人	47	55	50	84	
成果指標	農園利用者数(延べ)	人	2,960	3,125	3,290	3,290	
	市内世帯に対する利用者割合	%	8.7	9.1	9.7	9.6	
事業費 計			3,298	3,285	3,317	3,200	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		1,788	1,807	1,782	1,786
		オ 一般		1,510	1,478	1,535	1,414

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が中程度	(状況)「市内世帯に対する利用者の割合」は昨年度実績と比べ0.5ポイント上昇している。 (原因)毎年、募集区画数よりも応募者数が多いため、農園は常に定員一杯となっており、年々利用割合が上昇している。
--------	---	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

地域農業活性化事業

[687]

事業の位置づけ

一般会計

政策	06	活力あふれるまちづくり	事務事業コード	63-0302	実施計画	対象
施策	03	農業の振興	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	都市型農業の推進	担当	市民生活部 産業課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	生産者、市民、農協、販売先	地域農業の活性化(特産品の研究及び普及、地域農業普及啓発、農業を身近に感じる市民の増加、地産地消推進、食育推進) ・平成9年度～ いちじく栽培を試験的に開始する。 ・平成16年度～ 新たな特産品の研究を開始する。(プチヴェール) ・平成22年度～ 楽農まつり(4月)、にぎわいフェスタ(10月)を開催し、地産地消の推進及び特産品の周知啓発を図る。 ・平成23年度 新たな特産品の研究を開始する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	いちじくの出荷状況 平成25年度15.2t 平成26年度13.4t 平成27年度14.2t 平成28年度14.0t プチヴェールの出荷状況 平成25年度0.79t 平成26年度0.47t 平成27年度0.58t 平成28年度0.5t
	・特産品の品種拡大と品質向上が図られ、特産品として定着する。 ・地域特産品を栽培する農家が経営規模を拡大し、出荷量が増えている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	補助対象農産物数	品目	2	29	2	2
	補助総額	千円	1,700	1,840	2,000	1,554
成果指標	地域特産品出荷量	t	14.8	14.5	22	12.9
	試験研究作物数	品目	2	2	2	2
事業費 計			1,882	1,840	1,800	1,638
財源内訳		ア 国				
		イ 県	182			84
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	1,700	1,840	1,800	1,554

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 低下 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	(状況) 地域特産品出荷量は昨年度実績と比べ、11.0%低下している。 (原因) いちじくの連作障害やほ場確保等の問題が考えられる。
--------	--	---

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	市の特産品となりうる農作物の普及や加工品製造についての取り組みを支援します。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
いちじくやプチヴェールの加工品製造について検討した結果、新商品の開発につながった。			

営農支援事業

[688]

事業の位置づけ

一般会計

政策	06	活力あふれるまちづくり	事務事業 コード	63-0303	実施 計画	
施策	03	農業の振興	評価区分	通常評価	総合 戦略	
基本事業	03	都市型農業の推進	担当	市民生活部 産業課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>農業協同組合 認定農業者 農業生産者 産直部会 市内農用地 市民</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>都市化の進展、農業後継者や農地が減少傾向にある中で、食糧生産・緑供給・景観・都市空間確保・環境保全・防災などの多様な機能を持つ農地が保全され、農業経営の安定化特産品振興などにより都市との調和のとれた都市(近郊)型農業が行われている。</p>	<p>尾張旭市の農業の振興と発展を目的に、次の事業を行う地域農業に密着した幅広い分野で経験豊富な農協に対し補助する。</p> <p>営農改善及び推進(鳥獣被害の防止、生産技術の向上、転作促進、認定農業者の支援、各種団体の育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 近年、食に対する安全・安心の確保や食生活の改善、地域農林水産業の振興に向け、消費者と生産者が顔の見える関係づくりを進める「地産地消」の取組が各地で実施されてきている。こうした中、産直部会の会員は市内で育成した自分の野菜を採取し、JA等による直売施設で市場を通さない販売を行っており、産直部会による直売が、地産地消振興の一端を担っている。 高齢化した農家や兼業農家が耕作できない農地を継続的に農地として維持するため、認定農業者へ農地を集約し農地を保全していくために認定農業者への支援を行う。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動 指標	補助金総額	千円	1,700	2,000	2,000	2,017
	各種営農指導事業活動数(研修会等)	回	12	12	10	12
成果 指標	産直部会販売額	千円	68,728	69,099	82,000	64,494
	地域特産物出荷量	t	14.8	14.5	22	12.9
事業費 計			1,940	1,752	2,000	2,017
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	1,940	1,752	2,000

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	<p>(状況)産直部会販売額及び地域特産物出荷量ともに昨年度実績と比べ、それぞれ6.7%、11.0%低下した。 (原因)産直部会会員の高齢化による出荷数の減少、いちじくの連作障害やほ場確保等の問題による収量の減少などが考えられる。</p>
	【成果指標の状況】 低下	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	平成29年3月に設立予定の農業生産法人への支援を行います。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	関係機関等と調整を図り、平成30年1月に農業生産法人が設立された。		

農業委員会運営事業

[690]

事業の位置づけ

一般会計

政策	06	活力あふれるまちづくり	事務事業コード	63-0901	実施計画	
施策	03	農業の振興	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 産業課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	農業従事者を始めとする市民、農地所有者、転用事業者、農地	<ul style="list-style-type: none"> 農業委員会の委員 農業委員会等に関する法律の改正に伴い、市長が議会の同意を得て農業委員を選出する方法に変更となり、農業委員定数も11人となった。 農業委員会総会は合議制で、毎月1回開催する。 農業委員の事務 農地等の利用の最適化の推進に関する事務を最も重要な事務として位置付ける。併せて、農地法等によりその権限に属された事項(農地の権利移動許可等)が必須業務となる。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

- ・優良農地の確保と有効利用が図られている。
- ・農地の利用集積と担い手を支援している。
- ・農業者からの相談に対して適切な助言をするとともに、意見や要望を聞き農政に反映させる。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	会議の開催回数	回	12	12	13	13	
	審議した議案件数	件	15	19	35	25	
成果指標	法令業務の件数(許可件数+届出件数)	件	127	181	170	132	
	任意業務の件数(利用集積の設定、解除申請数)	件	27	19	20	19	
事業費計			5,454	5,138	4,909	4,808	
財源内訳		ア 国					
		イ 県	千円	18	18	79	78
		ウ 地方債					
		エ その他		89	88	80	130
		オ 一般		5,347	5,032	4,750	4,600

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 なし	農地法に基づく許認可や農地利用集積計画の策定を適切に行っている。
--------	---	----------------------------------

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

農政庶務事務

[941]

事業の位置づけ

一般会計

政策	06	活力あふれるまちづくり	事務事業コード	99-0307	実施計画	
施策	03	農業の振興	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 産業課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	課職員(農政の庶務事務)	産業課(農政)における主な庶務事務 ・文書の收受 ・庁内外文書の処理 ・郵便物の発送、後納郵便支払 ・環境マネジメント、行政評価の管理 ・課内の備品・消耗品の調達・管理 ・財務会計事務 ・予算・決算に関する事務
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
庶務的な事務が正確かつ円滑に進んでいる。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	庶務事務所要時間	時間	600	600	600	600
成果指標	庶務事務における手続きミス、不具合件数	件	0	0	0	0
事業費 計			1,434	1,820	1,749	1,560
財源内訳		ア 国				
		イ 県	125	552	702	611
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	1,309	1,268	1,047	949

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 なし	(状況) 庶務事務における手続きミス、不具合件数は、昨年度実績から変化なし。
--------	--	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-